

ぴっくす

まちの話題

三文字商店街で『歳の市』を開催

12月20日(土)・21日(日)、三文字のマツザカヤさん横の駐車場において、『おおさき三文字歳の市』が開催されました。

昨年に引き続き今回で2回目となりますが、今年も天候にも恵まれたたくさんの方が訪れました。催しとして、たこ焼き、うどん、野菜、ポンポン菓子などの出店や抽選会、南光保育園児による太鼓演奏、カネモリー座による花太鼓演奏など盛りだくさんの内容となりました。

三文字通り会の松元さんは、「今度はさらに規模を拡大して開催したい。」と意気込んでいらっしゃいました。



サンタさんがやってきた!

大崎町青年団(団長・黒木友行さん)は、12月24日、毎年恒例となっている『クリスマス大作戦』を実行しました。

このクリスマス大作戦は、青年団が子どもたちの一夜の夢をかなえようと、事前にお父さんお母さんから預かったプレゼントを、青年団扮するサンタクロースが親に代わってプレゼントするというものです。サンタさんの突然の訪問に、何も知らない子どもたちは、驚いた表情で出迎えていました。

野菜生産者と交流

全国学校給食週間(1月24日~30日)に合わせて、鹿児島県教育委員会では給食を実施している県内すべての公立学校で、県内産だけの食材を取り入れた『鹿児島をまるごと味わう学校給食』の日を設定しています。

1月22日、大崎町では、町内の農業についての知識を深め、普段食べている給食に町内産の野菜が使われていることを知ることで、偏食をなくす努力や感謝の気持ちを持たせようと、大崎中学校の2年生が『総合的な学習の時間』を利用して、町内の野菜生産者の畑に伺い栽培方法などについて説明を受けました。生産者の説明に、生徒たちは、熱心に耳を傾けていました。

翌日は、大崎町給食センターへ野菜を納入している生産者や給食センター関係者を大崎中学校に招いての試食会が開かれ、交流を深めました。

